

登録コード	L2961300	開講年度	2026				
担当教員	護山 真也			副担当			
授業科目	古典語VI						
英文授業名	Classical Language: Sanskrit II						
授業タイトル	Sanskrit II						
単位数	2	対象学生		講義期間	後期	曜日・時限	火曜・1時限
講義室	人文501演習室		遠隔授業科目		読替科目	読替科目は履修案内を確認すること	
信大コンピテンシー	非該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素			⇔	【授業の達成目標】		
	2022Lカリ, 2021Lカリ, 2020Lカリ						
	【2022年度以降カリ対象】グローバル社会において、多様な文化を理解し、自らの文化を発信できる外国語能力			⇔	サンスクリット語文法の知識を身につけ、それとの比較で英語等の言語に関する自らの知見を深め、インド文化に関して意見を述べるができるようになる。		
	2026Lカリ, 2025Lカリ, 2024Lカリ, 2023Lカリ						
	【2023年度以降カリ対象】人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門の学力が身についている。【思索力・受容力・批判力】			⇔	サンスクリット語文法の知識を身につけ、それとの比較で英語等の言語に関する自らの知見を深め、インド文化に関して意見を述べるができるようになる。		
	【2023年度以降カリ対象】必要な情報を的確に収集し、理解し、発信する力が身についている。【メディアリテラシー・コミュニケーションリテラシー・外国語能力】			⇔	サンスクリット語文法の知識を身につけ、それとの比較で英語等の言語に関する自らの知見を深め、インド文化に関して意見を述べるができるようになる。		
授業で学べる「テーマ」	多文化協働						
全学横断特別教育プログラム							
授業の概要	「古典語V」に引き続いて、教科書となるプリントに従って文法の解説を行います。また、授業のはじまりには、『般若心経』や『バガヴァッド・ギーター』などのテキストの音読と、練習問題の答え合わせを行います。						
授業計画	第01回：イントロダクション 第02回：願望法 第03回：命令法 第04回：複合語①：格限定複合語など 第05回：複合語②：所有複合語など 第06回：現在分詞 第07回：絶対格の構文 第08回：第二種動詞の活用①：第2類動詞 第09回：第二種動詞の活用②：第3類動詞など 第10回：動詞の受動態 第11回：動詞の使役形 第12回：過去分詞 第13回：連続体と未来形 第14回：動詞的形容詞 第15回：まとめ・授業アンケート 最終試験〔教科書等持ち込み可〕を実施する						
成績評価の方法	毎回の課題と最終試験の成績で評価します。毎回の課題（練習問題）が2割、最終試験が8割で評価します。						
成績評価の基準	サンスクリット語の基本的な文法事項を理解していることを水準とし、そこから応用的な文章がどの程度理解できるかに応じて、やや上にあるもの、かなり上にあるもの、卓越したものと認めます。						
事前事後学習の内容	毎回、練習問題を解いてくることが課せられます。授業の内容を復習し（事後学習）、そのの課題に取り組むこと（事前学習）が必要になります。						
履修上の注意	古典語V(サンスクリット語I)を履修した人が対象になります。						
質問、相談への対応	基本的にメール（smoriyam@shinshu-u.ac.jp）で受け付けます。必要に応じて、zoomでのオンライン面談にも応じます。その場合もまずはメールで連絡をとってください。						
教科書	初回時に教科書となる冊子（後期用）を配布します。						
参考書	できるだけ次の参考書を手元に置いておくことをお勧めします。 辻直四郎『サンスクリット文法』岩波書店（岩波全書），1974年。 また、次の本はサンスクリット文法の学習補助として有益です。 赤松明彦『サンスクリット入門』中央公論新社（中公新書），2024年。						